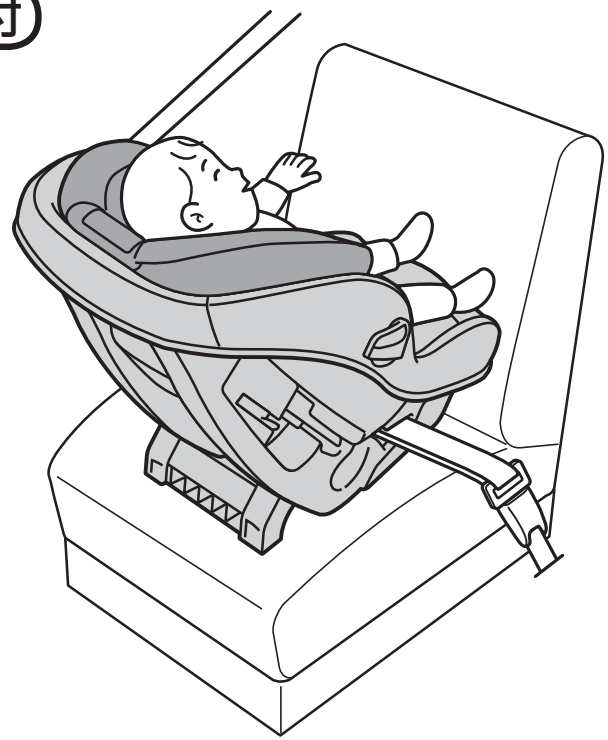
レカロ スタート ゼロセブン

RECARO Start

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

レカロ スタート ゼロセブン

取扱説明書 品質保証書付



- ●お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。
- ●50ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。
- **●本書は本体の台座底部の取説収納用ポケットに保管してください。（5ページ参照）**

本製品は、ヨーロッパ統一規則（ECE R44/04 改訂）において認可された商品です。
- ●汎用型（ユニバーサル）：質量グループ 0，1，2
- ●体　重：～ 25kg 以下の乳幼児用
- ●弊社の「取付確認車種リスト」をご確認の上、ご使用ください。

⚠危険 お子さまの体重が 9kg 以上になるまで前向きで使用しないこと

お使いいただく前に
車に取り付ける前に
車への取り付け
お手入れ・その他

お使いいただく前に

このたびは、レカロ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表　示	表示の内容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

もくじ

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

お使いいただく前に

お使いいただく前に…… 1
各部のなまえ…… 3
使用条件…… 7
シートベルトの種類と使用上の注意 …… 9
取り付けできない座席…… 11
安全にお使いいただくために…… 13

車に取り付ける前に

インナークッションの使いかた…… 21
お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた… 23
お子さまの座らせかた…… 25

車への取り付け

車への取り付け…… 29
取り付け準備…… 30
後向き取り付け…… 31
後向き取り付け完了チェックのしかた … 37
前向き取り付け…… 39
前向き取り付け完了チェックのしかた … 42

お手入れ・その他

シートカバーのはずしかた…… 43
シートカバーの取り付けかた…… 45
洗いかた…… 47
保管・廃棄のしかた…… 48
製品仕様…… 49
品質保証書…… 50
角度チェッカー…… 裏表紙

各部のなまえ

つづく

RECARO ホームページ ダウンロード版

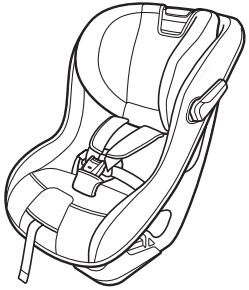
ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。
本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

●ご使用前に、本書50ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。
①製品名とロットNo.（本体背面に貼ってあるシールに記載されています）
②お客様のお名前・ご住所・電話番号
③販売店名

●領収書（レシート）を本書といっしょに保管してください。

梱包内容

●本体



●インナークッション

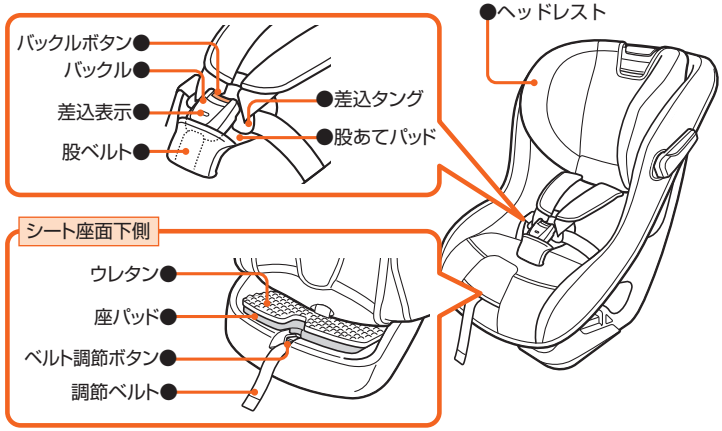
●インナークッション頭部用

●インナークッション座面用

●取扱説明書（本書）

●お客様登録カード

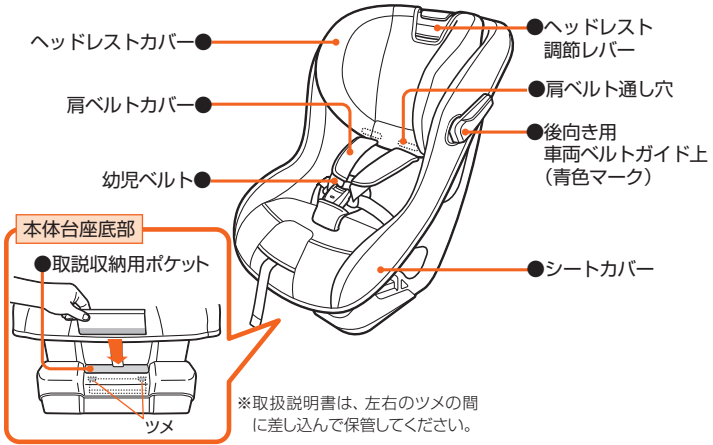
正面



各部のなまえ

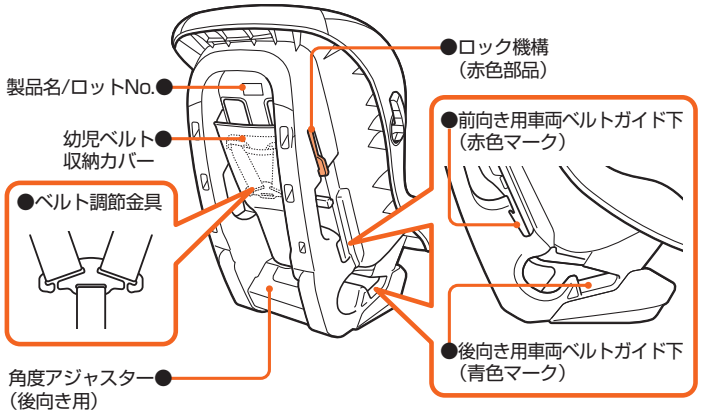
RECARO
ホームページ
ダウンロード版

正面



※取扱説明書は、左右のツメの間に差し込んで保管してください。

背面



※インナークッションについては、「インナークッションの使いかた」（２１ページ）を参照。

お使いいただく前に

使用条件

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

ここでは、お子さまの体重による取り付けの向き、インナークッションの使いかたを説明していま　す。お子さまの体重にあわせて正しくお使いください。

お子さまの体重にあわせて、3 段階の使いかたをします。

2.5kg(体重)　9kg　10kg　25kg

【●体重 9kg 以上 10kg 未満のお子さまは、後向き、前向きどちらでもお使いいただけます。】

後向き

1 体重 7kg 未満の場合

●進行方向に対して**後向き**
●インナークッション頭部用と座面用を必ずセットで使用する
●角度アジャスターを必ず使用する

⚠注意　お子さまへの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。また、首がすわるころまでは、お子さまの体調の変化に気をつけながらご使用ください。

使用の目安

身長の目安：～ 60cm 程度
年齢の目安：新生児～ 4 ヵ月ころ（首がすわるころ）
※新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上

2 体重 7kg 以上 10kg 未満までの場合

●進行方向に対して**後向き**
●インナークッション座面用は使用禁止
●角度アジャスターを必ず使用する
※インナークッション頭部用が使用できます。お子さまの体形にあわせて任意で使用してください。

使用の目安

身長の目安：60cm ～ 75cm　程度
年齢の目安：4 ヵ月ころ（首が　すわるころ）～ 1 才ころ

前向き

3 体重 9kg 以上 25kg 以下までの場合

●進行方向に対して**前向き**
●インナークッションは使用禁止
●座パッドは股ベルトがきつくなった場合、はずすこと
●角度アジャスターは使用禁止

使用の目安

身長の目安：75cm ～ 120cm 程度
年齢の目安：1 才ころ～ 7 才ころ

⚠危険
● 体重 9kg 未満は必ず後向きでご使用ください。前向きでの使用は非常に危険です。
●「身長の目安」や「年齢の目安」はあくまでも目安です。身長や年齢が上記条件を満た　していても、「体重条件」を満たしていないお子さまはお使いになれません。

お使いいただく前に

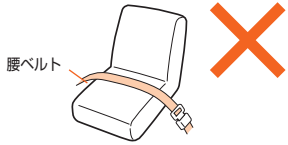
シートベルトの種類と使用上の注意

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。
本製品は UN/ECE 規則 No.16 または、他の同等の基準に基づいて認可された 3 点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

⚠危険
- ●必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- ●2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

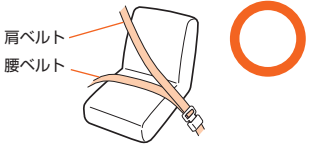
2 点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右 2 点で体を支えるシートベルトのこと。



3 点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの 3 点で体を支えるシートベルトのこと。



シートベルトの種類と特徴（見分けかた）		後向き取り付け注意点	前向き取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。本製品のロック機構により固定してください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。（シートベルトを全て巻き戻すと解除される）	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを 1 度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。	シートベルトを全て引き出し、チャイルドシート固定機能をきかせた状態で、本製品のロック機構により固定してください。
NR	巻き取り装置の付いていないシートベルト。	チャイルドシートにあわせてシートベルトの長さを調節し、固定してください。	チャイルドシートにあわせてシートベルトの長さを調節し、本製品のロック機構により固定してください。
NLR	ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。		
ALR	シートベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなる。	使用できません。	

＊シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

お使いいただく前に

取り付けできない座席

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

取り付けできない座席

次の条件のいずれか１つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかり固定できない場合には使用しないでください。

●シートベルトが付いていない座席。

●２点式シートベルトの座席。

●座面の奥行きが40cm未満の座席。

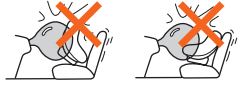
●極端なバケットシート。
…座面の中央が深くへこんでいる座席。

●進行方向に対して横向き、または後向きの座席。

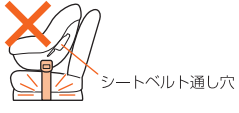
●ヘッドレスト部が極端に出っぱっている座席
…**車のヘッドレスト部**の形状により、チャイルドシートのヘッドレスト調節操作ができない座席。
※ 車のヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずすことで操作が可能になれば、その座席でも取り付けできます。

●パッシブシートベルトの付いた座席。
※パッシブシートベルトとは
…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。（オートマチックシートベルト）

●エアバッグ装備の座席。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



●シートベルトが座席の中間から出ている座席。
…チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。



●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。

●シートベルトの取り付け幅※が32cm未満の座席。
※ シートベルトが座席の端にあたっているところから、バックルの付け根までの長さ。

●シートベルトの長さが極端に短い座席。

RECARO
つづく ホームページ
ダウンロード版

⚠危険

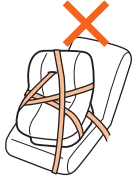
次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

●使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。

●お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。
座らせたときには、お子さまに股あてパッド、幼児ベルトが正しく装着され、左右の差込タングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。

●車に取り付けるときは、必ず車両シートベルトで固定してください。ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。

●車に取り付けるときは、車両シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。誤った部分を通して取り付けないでください。



⚠危険

●エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。
衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
… サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

●車両シートベルトおよび座席の種類などにより、取扱説明書どおりにチャイルドシートをしっかり固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

⚠緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

RECARO
つづく ホームページ
ダウンロード版

⚠警告

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

●幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。
※幼児ベルトは正しい長さに調節してください。
(23～28ページ参照)

●調節ベルトは調節ベルト取り出し口内に収納してください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

●7kg未満の小さなお子さまを座らせる場合には、必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。
(21ページ参照)

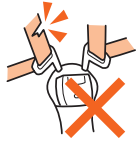
●衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。

●車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。

●バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合、または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、レカロ スタートコールへお問い合わせください。

⚠警告

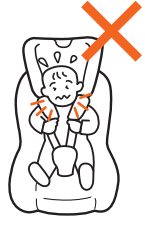
●幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、レカロ スタートコールへお問い合わせください。



●お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の機能を果たさず、さらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。

●チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。

●ヘッドレストの高さを調節する際には、幼児ベルトをたるんだ状態にしてください。ヘッドレストを可動させると、幼児ベルトが締まったり、ゆるんだりします。幼児ベルト拘束後はヘッドレストを動かさないでください。



RECARO
つづく ホームページ
ダウンロード版

⚠警告

次のような使いかたは、お子さまや同乗しているかたに危険をまねくおそれがあります。

●お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなることがあります。

●助手席に、チャイルドシートを後向きに取り付け、ドアミラーが見えにくいときは、後座席に取り付けてください。

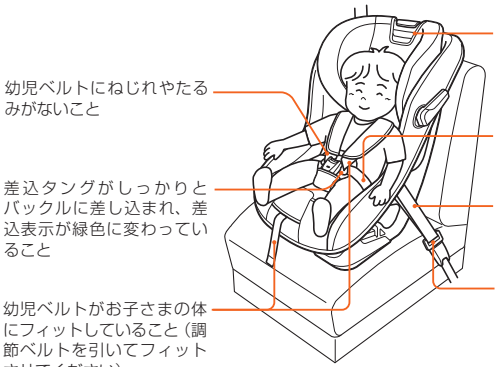
●シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けないでください。

●2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。

●お子さまを車内に1人で放置しないでください。
日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。

⚠日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。



※イラストは前向き使用例

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

⚠注意

●直射日光が当たると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。
また、お子さまを座らせる**前に各部を触り、熱くない**ことを確認してから使用してください。

●製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

●出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

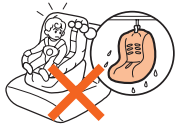
●チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒してけがをするおそれがあります。**本書に記載されていない使いかたをしないでください。**

●チャイルドシートを車のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。

●走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。

⚠注意

●シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）



●車の座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。

●座席の表皮素材（革など）および形状によっては、取り付けた座席に傷や跡がつくおそれがあります。

●チャイルドシートを風雨にさらさないでください。

●固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまに当たるおそれがありますので、十分注意してください。

●爪を伸ばしていたり、付け爪をしていると、拘束や**調節操作をする**際、巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。

インナークッションの使いかた

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

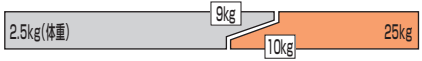
インナークッションは、小さな赤ちゃんを保護するためのもので、「後向き」使用時のみ使用します。(工場出荷時、インナークッションは取り付けられています)お子さまの体重によって使いかたが異なります。

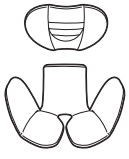
危険
- インナークッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たさず危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。

警告
- 「前向き」使用時は、インナークッションを使用しないでください。
- お子さまの体重が 7kg 未満の場合、頭部用と座面用を必ずセットで使用してください。
- 体重9kg以上～10kg未満のお子さまは、後向き、前向きどちらでもお使いいただけますが、体重にかかわらず「前向き」使用時はインナークッションを使用しないでください。

注意
- はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげになることがあります。
- チャイルドシートを持ち運ぶときは、インナークッションを持たないでください。

お子さまの体重にあわせて、3 段階の使いかたをします。

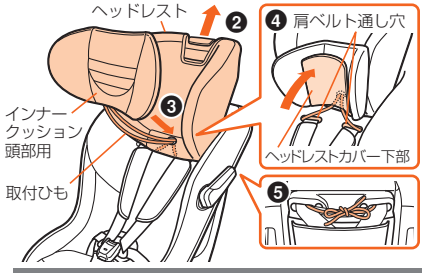


後向き		前向き
1 体重 7kg 未満	**2** 体重 7kg 以上 10kg 未満	**3** 体重 9kg 以上 25kg 以下
頭部用と座面用を必ずセットで使用	座面用は使用禁止 頭部用は使用可能	使用禁止
	 ※頭部用はお子さまの体形にあわせて任意で使用してください。	

インナークッションの使いかたが変わったら肩ベルトを調節しなおしてから、チャイルドシートを使用します。「お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた」(23ページ参照)

インナークッション頭部用の取り付け

❶ 幼児ベルトをゆるめる。
(幼児ベルトの操作については25ページ参照)
❷ ヘッドレストを最上段まで引き上げる。
(ヘッドレストの操作については24ページ参照)
❸ ヘッドレストカバーの中央部にある通し穴に取付ひもを通す。
❹ ヘッドレストカバー下部をめくり、取付ひもを左右の肩ベルト通し穴に通す。
❺ 取付ひもを本体背面でむすぶ。

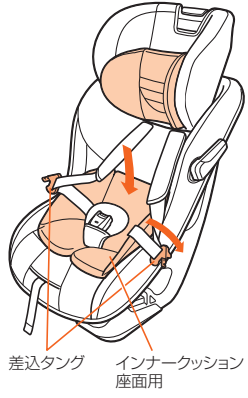


インナークッション頭部用の取りはずし

上記の取り付け手順を ❶ → ❷ → ❺ → ❹ → ❸ の順に行なってください。

インナークッション座面用の取り付け

❶ バックルボタンを押して差込タングをバックルからはずし（28ページ参照）、シートにインナークッション座面用をのせる。



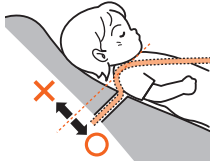
お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた

本製品はヘッドレストの位置調節と連動して肩ベルトの位置も変わります。
下記の肩ベルト位置を目安にヘッドレストの位置を調節してください。
肩ベルトの位置は、後向きと前向きで選ぶ位置が異なります。
（ヘッドレストの位置調節については、24 ページ参照）

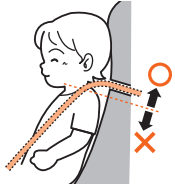
⚠警告
- ●肩ベルトの位置は、取り付け方向により適正な位置を選んで使用してください。
- ●チャイルドシートが不安定な状態でお子さまを座らせると、転倒のおそれがあります。お部屋などで確認されるときは、ご注意ください。

肩ベルトの位置

●後向き取り付け時
お子さまの肩の高さよりも、
やや下（目安：３ｃｍ程度）になるよう、
肩ベルトの位置を調節してください。

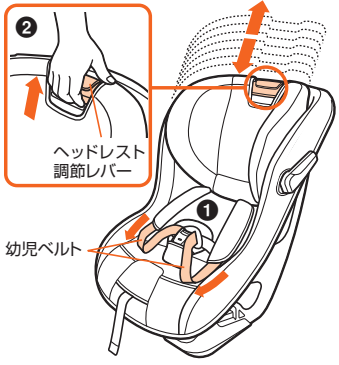


●前向き取り付け時
お子さまの肩の高さよりも、
やや上（目安：３ｃｍ程度）になるよう、
肩ベルトの位置を調節してください。

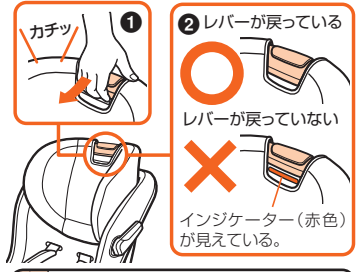


ヘッドレストの高さは、13 段階に調節できます。

1 ❶幼児ベルトをゆるめる。
（25ページ参照）
❷ヘッドレスト調節レバーを引き、
ヘッドレストの位置を調節する。



2 ❶適切な位置でヘッドレスト調節レバーを離す。「カチッ」と音がしてロックされます。
❷ヘッドレスト調節レバーが戻っていることを確認する。
※ 赤色のインジケーターが見えている場合はロックされておりません。
❸ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認する。



⚠警告
- ●赤色のインジケーターが見えている場合は、ロックされておらず、危険です。

お子さまの座らせかた

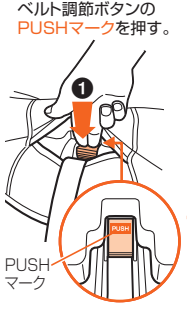
⚠警告

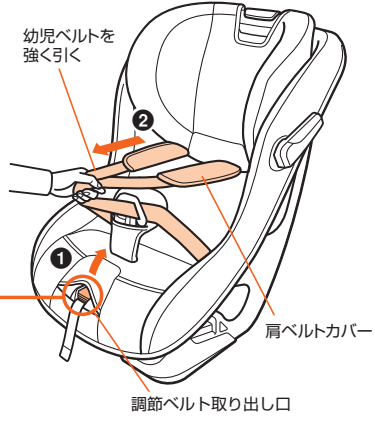
●おくるみなど、両足が分かれない衣類の着用はおやめください。

●お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。
●かさばったベビーウェアを着せたまま、座らせないでください。
●お子さまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。
チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

1

❶ 調節ベルト取り出し口をめくり、ベルト調節ボタンの奥側の『PUSH』マークを強く押しこむ。
❷ 左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引き、幼児ベルトをゆるめる。
※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。





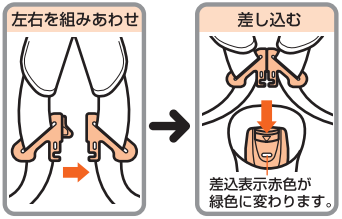
2

❶ バックルボタンを押し、差込タングを抜く。
❷ お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
❸ 左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。

❷
インナークッション使用の場合には、インナークッションにあわせて、お子さまを深く座らせてください。

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

3 左右の差込タングを組みあわせてから『カチッ』と音がするまで、差込タングをバックルに差し込む。



ワンポイント
●バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。

警告
●左右の差込タングが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

4 **幼児ベルトを短く調節する。**
❶ 腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。
❷ 肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
❸ 調節ベルトを手前に引き、お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。

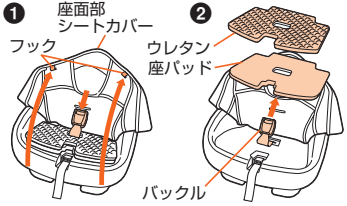
ワンポイント
●お子さまが窮屈でないように、また幼児ベルトがたるんだり、ゆるまないように調節してください。
●幼児ベルトをゆるめるときは、「お子さまの座らせかた」手順１（25ページ）を参照してください。

警告
●必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。
●幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

股ベルトがきつくなった場合

股ベルトがきつくなった場合は、本体の座面に敷いてある座パッドをはずしてください。

❶ ２ヵ所のフックをはずし、座面部のシートカバーを取りはずす。
❷ ウレタンパッドと座パッドを持ち上げ、通し穴からバックルを引き抜く。



❸ ウレタンパッドの通し穴にバックルを通し、座面に置く。
❹ シートカバーを取り付ける。

車への取り付け

ここでは、取り付け上の注意、後向きの取り付けかた、前向きの取り付けかたを説明しています。
※車の座席形状などにより、取り付けできない場合があります。（11 ～ 12 ページ参照）

⚠危険

- チャイルドシートがしっかり固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- 車に取り付けるときは、ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。
- エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
  ※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

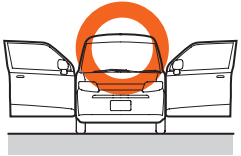
⚠警告

- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。
- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。
- 助手席に、チャイルドシートを後向きに取り付け、 ドアミラーが見えにくいときは、後座席に取り付けてください。
- シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けないでください。
- ２ドアや３ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。

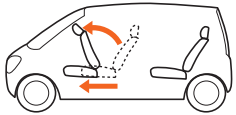
取り付け準備

取り付け作業の前に

1 取り付け作業は、ドアが全開可能な、平らな場所で行ってください。

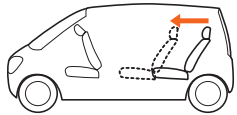


2 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付けてください。



取り付け座席のスライド機能について

取り付け手順終了後に取り付け座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。



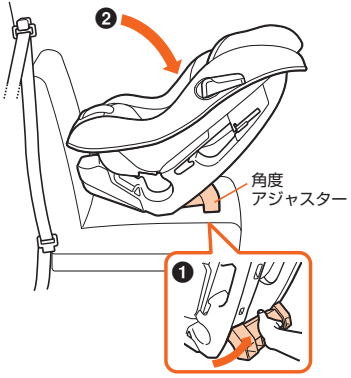
後向き取り付け（体重 10kg 未満のお子さま）

つづく

後向き取り付けの場合、角度アジャスターを引き出してから、車両シートベルトを取り付けます。

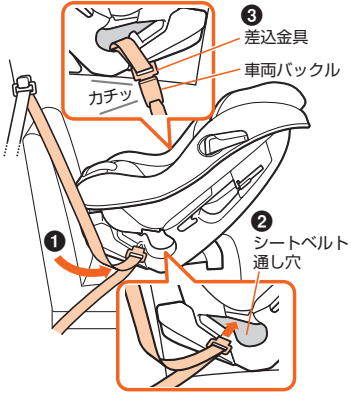
1

❶角度アジャスターを確実に引き出す。
❷本体を車両座席に後向きに置く。



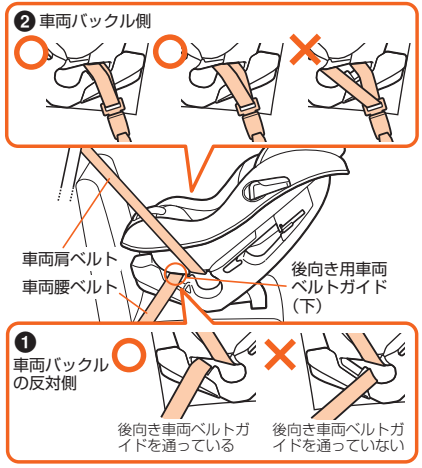
2

❶車両シートベルトをねじらないようにゆっくり引き出す。
❷シートベルト通し穴に通す。
❸反対側の通し穴から引き出し、差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。



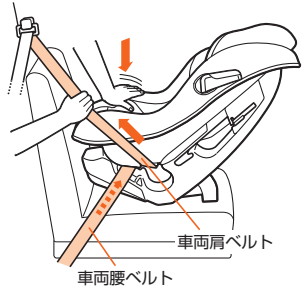
3

❶車両腰ベルトが左右の後向き用車両ベルトガイド(下)の青色マークにかかるように通す。(青色マークの位置は6ページ参照)
❷車両肩ベルトが車両バックル側の後向き用車両ベルトガイド(下)の青色マークにかかるように通す。



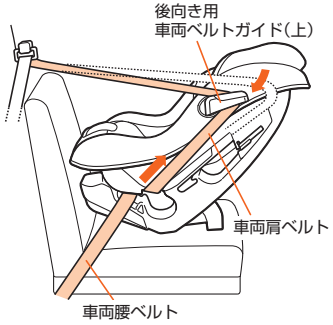
4

本体を車両座席に押し付けながら、車両肩ベルトを手前に引き、車両腰ベルトのゆるみをとる。



RECARO
つづく ホームページ
ダウンロード版

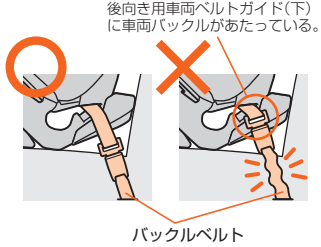
5 車両肩ベルトを強く引いたまま、車両バックルの反対側の後向き用車両ベルトガイド（上）にはさみ込む。



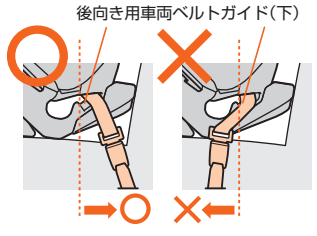
ワンポイント

- 車両バックルの反対側の後向き用車両ベルトガイド(上)だけを使用します。車両バックル側の後向き用車両ベルトガイド(上)は使用しません。
- チャイルドシート固定機能がついている場合、車両シートベルトをすべて引き出すとロックし、取り付けができなくなる場合があります。
  ※車両シートベルトを引き出しすぎないでください。
- 車両シートベルトがロックし、取り付けができない場合は、31ページ手順1から作業をやり直してください。

⚠警告



- 車両バックルが後向き用車両ベルトガイド(下)にあたることで、バックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。
  バックルベルトにゆるみがある状態では、使用しないでください。

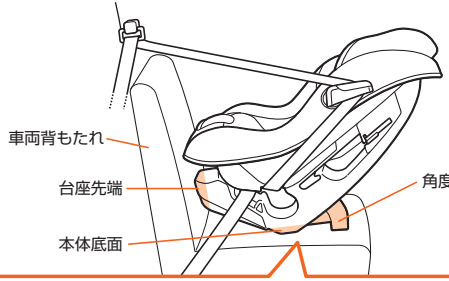


- バックルベルトの根元が、後向き用車両ベルトガイド(下)より前から出ている座席では、取り付けが不安定になる場合があります。

ご不明な点は、レカロ スタートコールへお問い合わせください。

つづく ホームページ ダウンロード版

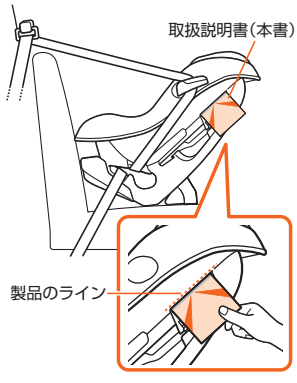
6 **チャイルドシートの取り付け角度を調節する。**
車両座席に角度アジャスターと本体底面、車両背もたれに台座先端が接地していることを確認する。



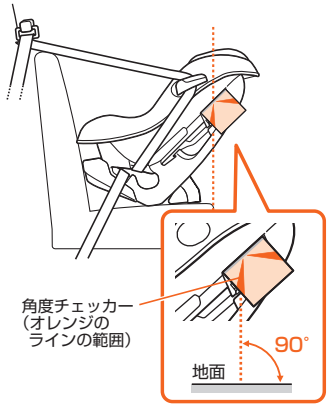
ワンポイント

●チャイルドシートを後向きで取り付けるときの目安としてお使いください。

❶ 取扱説明書（本書）の裏表紙を図のように本体側面のラインにあてる。



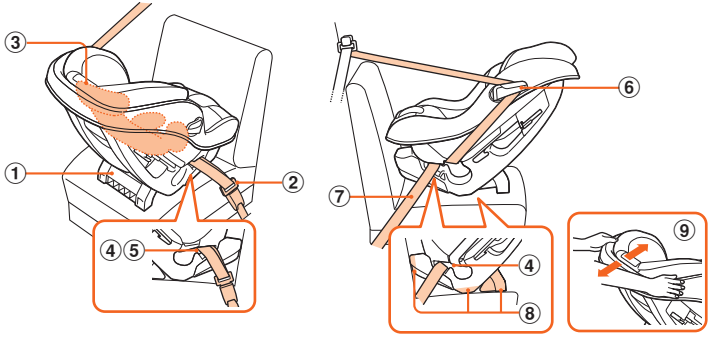
❷ 角度チェッカーがオレンジのラインの範囲内で垂直（地面に対して９０°）になっているか、確認する。



後向き取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

① 角度アジャスターが確実に引き出されていること。
② 車両シートベルトの差込金具が**車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。**
③ お子さまの体重が7kg未満の場合は、インナークッション頭部用と座面用の両方が取り付けてあること。
④ 車両腰ベルトが左右の後向き用車両ベルトガイド(下)を通っていること。
⑤ 車両肩ベルトが**車両バックル側の**後向き用車両ベルトガイド(下)を通っていること。
⑥ 車両肩ベルトが**車両バックルの**反対側の後向き用車両ベルトガイド(上)を通っていること。
⑦ 車両シートベルトに、たるみがないこと。
⑧ 車両**座席に**角度アジャスターと本体底面と台座先端が接地していること。
⑨ チャイルドシートを前後にゆすり、車の座席の背もたれから離れないこと。
※チャイルドシートの構造上、本体が左右に動きますが、使用上問題はありません。



MEMO

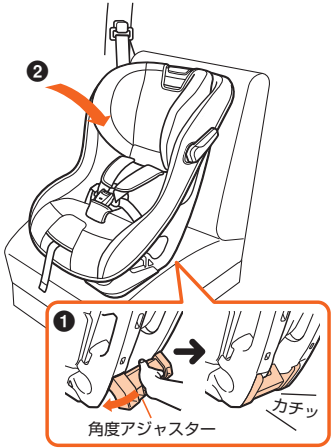
RECARO
ホームページ
ダウンロード版

車への取り付け

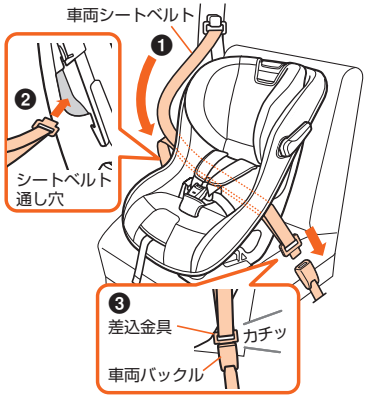
前向き取り付け（体重9kg～25kg以下のお子さま）

前向き取り付けの場合、角度アジャスターを収納してから、車両シートベルトを取り付けます。

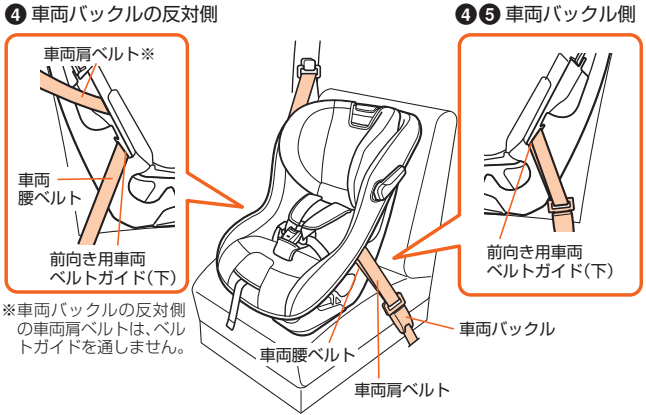
1 ❶ 角度アジャスターが出ている場合は、「カチッ」と音がするまで押し込んで収納する。
❷ 本体を車の座席に前向きに置く。



2 ❶ 車両シートベルトをねじらないようにゆっくり引き出す。
❷ シートベルト通し穴に通す。
❸ 反対側の通し穴から引き出し、差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。

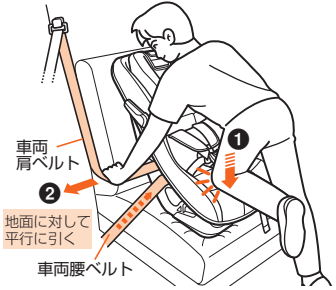


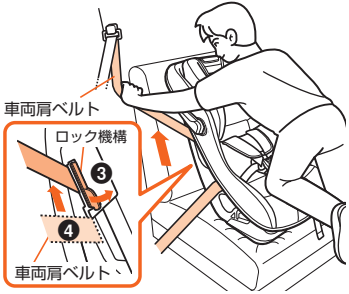
❹ 車両腰ベルトが左右の前向き用車両ベルトガイド（下）の赤色マークにかかるように通す。
❺ 車両肩ベルトが車両バックル側の前向き用車両ベルトガイド（下）の赤色マークにかかるように通す。（赤色マークの位置は6ページ参照）



前向き取り付け（体重9kg～25kg以下のお子さま）

3 ❶座面の奥にひざを乗せて体重をかけ、車の座席に本体を沈み込ませる。
❷車両肩ベルトを矢印の方向（地面に対して平行）に強く引き、車両腰ベルトのゆるみをとる。
❸車両肩ベルトを強く引いたまま、車両バックルの反対側の赤色のロック機構を開く。
❹できたすき間の上まで車両肩ベルトをはさみ込み、ロック機構を押し込み閉める。





⚠警告

●車両バックルが前向き用車両ベルトガイド(下)にあたることで、バックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。バックルベルトにゆるみがある状態では、使用しないでください。

●バックルベルトの根元が、前向き用車両ベルトガイド(下)より前から出ている座席では、取り付けが不安定になることがあります。

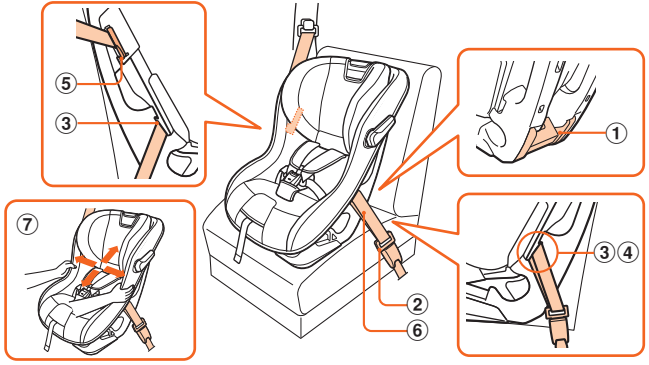
ご不明な点は、レカロ スタートコールへお問い合わせください。

前向き取り付け完了チェックのしかた

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

①角度アジャスターが確実に収納されていること。
②車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
③車両腰ベルトが左右の前向き用車両ベルトガイド(下)を通っていること。
④車両肩ベルトが車両バックル側の前向き用車両ベルトガイド(下)を通っていること。
⑤車両肩ベルトが車両バックルの反対側のロック機構を通っていること。
⑥車両シートベルトに、ゆるみ・たるみがないこと。
⑦本体側面部分を持ち、前後左右にゆすり、3cm以上動かないことを確認する。



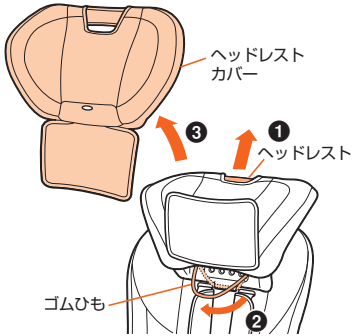
シートカバーのはずしかた

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

インナークッションについては、21ページをご参照ください。

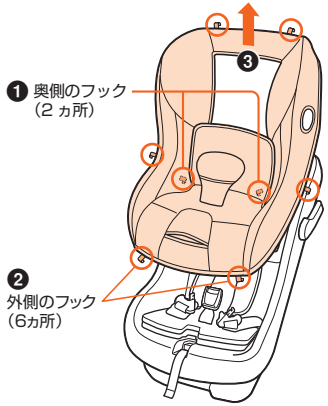
ヘッドレストカバー

❶ ヘッドレストを最上段まで引き上げる。
（ヘッドレストの操作は**24ページ参照**）
❷ ヘッドレストカバー裏のゴムひもをはずし、ヘッドレストカバーを下から上に取りはずす。



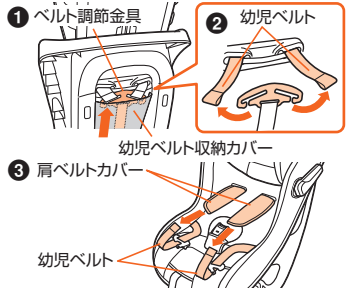
シートカバー

❶ 座面の奥側にある2ヵ所のフックをはずす。
❷ シートカバーの外側にある6ヵ所のフックをはずす。
❸ シートカバーを取りはずす。

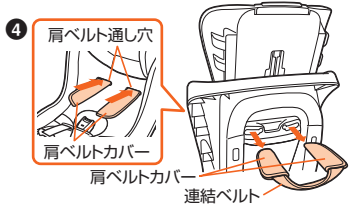


肩ベルトカバー

❶ ベルト調節金具が幼児ベルト収納カバーの上に出てくるまで幼児ベルトを引き出す。
（幼児ベルトの引き出しかたは 25 ページ参照）
❷ 左右の幼児ベルトをベルト調節金具からはずす。
❸ 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。
※ 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトははずれません。必ず、幼児ベルトを引いてください。



❹ 正面から肩ベルト通し穴に肩ベルトカバーを押し込みながら、背面より引き抜く。
※ 左右の肩ベルトカバーは、連結ベルトにより背面でつながっています。



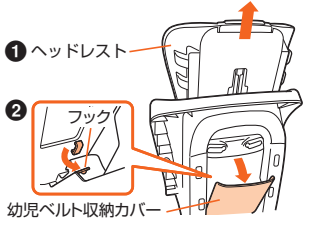
お手入れ・その他

シートカバーの取り付けかた

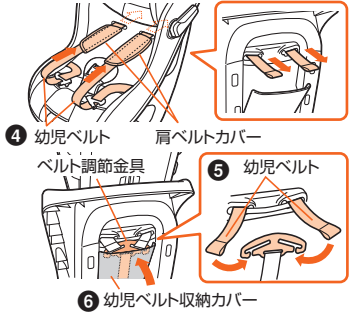
RECARO
ホームページ
ダウンロード版

肩ベルトカバー

❶ ヘッドレストを最上段まで引き上げる。
❷ 幼児ベルト収納カバーの**両側2 ヵ所のフックをはずし、収納カバーを開く。**
❸ 背面から肩ベルト通し穴に肩ベルトカバーを押し込みながら、正面より引き抜く。



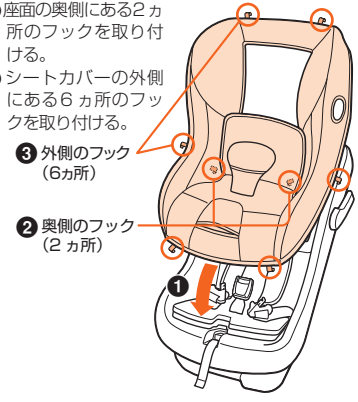
❹ 肩ベルトカバーに幼児ベルトがねじれないように通し、背面に引き出す。
❺ 幼児ベルトをベルト調節金具に取り付ける。
❻ 幼児ベルト収納カバーの**両側2 ヵ所のフックをとめ、収納カバーを閉じる。**



ワンポイント
●長さが足りず、幼児ベルトをベルト調節金具に取り付けられない場合、ベルト調節ボタンを押しながら、ベルト調節金具を引き上げてください。

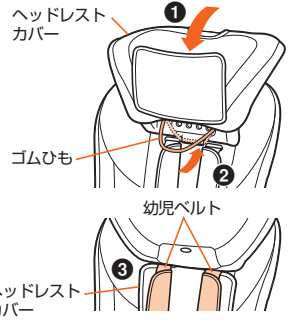
シートカバー

❶ シートカバーをかぶせる。
❷ 座面の奥側にある2ヵ所のフックを取り付ける。
❸ シートカバーの外側にある6 ヵ所のフックを取り付ける。



ヘッドレストカバー

❶ ヘッドレストカバーを上から下に取り付ける。
❷ ヘッドレストカバー裏のゴムひもを本体に取り付ける。
❸ 幼児ベルトをシートカバー、ヘッドレストカバーの上にくるように調節する。



洗いかた

シートカバー、ヘッドレストカバー、肩ベルトカバー、インナークッションの洗いかた

●洗濯時は次のことを守ってください。

	液温は 30℃を限界とし手洗いしてください。
	塩素系漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	強くしぼると、シワが残ることがあります。
	日陰で平干してください。

※洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。

※洗濯後、脱水機、乾燥機は使用しないでください。

●インナークッションを洗濯するときは、中に入っているウレタンを取りはずしてください。

ウレタンについて

●シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。

本体、幼児ベルトのお手入れ方法

通常は固くしぼった布で水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水拭きし、日陰で乾燥させてください。

⚠警告

●中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

保管・廃棄のしかた

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

保管のしかた

本　体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、本体台座の収納ポケットに保管してください。（5ページ参照）

廃棄のしかた

●お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。

●衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

RECARO
ホームページ
ダウンロード版

■製品サイズ
(W)510 × (D)620 ～ 625 × (H)665 ～ 825

■製品質量
本体…7.5kg

■材質
本体　：ポリプロピレン、ポリスチレン、ウレタン
カバー：表 / ポリエステル
　　裏 / ウレタン

品質保証書
レカロ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、レカロ スタートコール、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名	ロットNo. （本体背面のシールをご覧ください）	保証期間 お買い上げ日より1年間 （ただし保証規定による）
お客様	お名前	お買い上げ日 年　月　日
	ご住所　〒	TEL
販売店	店　名	TEL
	住　所	

見本

修理メモ

保証規定
1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、レカロ スタートコールにお送りください。
3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
   (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
   (b) シートカバーなど、縫製部品の傷やぶれ。
   (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
   (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
   (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   (f) 本書のご提示がない場合。
   (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
   (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

●お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
●万一故障が生じました場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
●領収書（レシート）を本書と一緒に保管してください。
●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、レカロ スタートコール、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
●品質保証書にご記入いただいた個人情報は、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

このグレーのラインを本体側面のラインにあわせる

RECARO ホームページ ダウンロード版

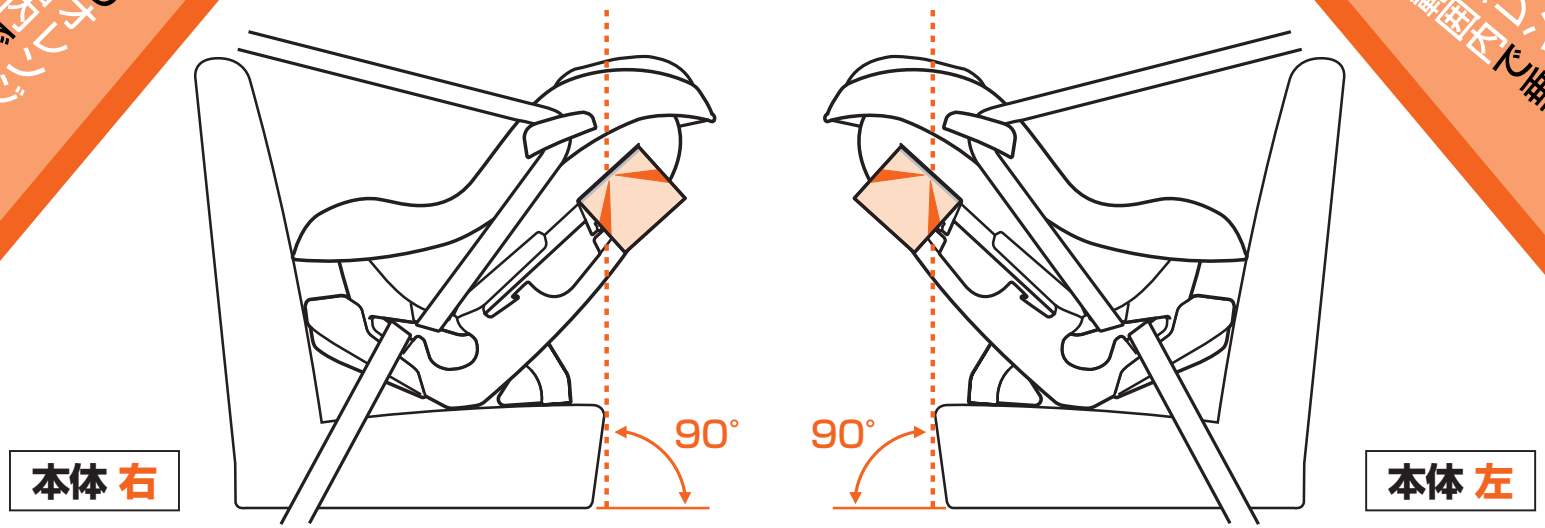
角度チェッカー

チャイルドシートを後向きで取り付けるときの目安としてお使いください。

●本体を右方向に倒したとき、このラインの範囲内であること。

●本体を左方向に倒したとき、このラインの範囲内であること。

後向きでご使用の場合、角度チェッカーのオレンジのラインの範囲内で垂直（地面に対して90°）になっているか確認してください。（36 ページ参照）



本体 右

本体 左

発売元／ レカロ　チャイルドセーフティ株式会社
〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島 5-5-15　新大阪セントラルタワー 10F

商品に関するお問い合わせ・ご相談は、レカロ　スタートコールにて対応いたします。
レカロ　スタートコール　0800-919-1906（フリーコール）

製造元／ コンビ株式会社

146146070　12.10